

明日の家族を考える会 会報

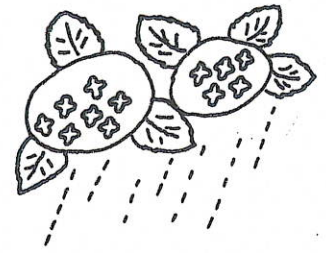


第49号

2013年6月

- ・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀絃一 ・事務局長 中村厚子
- ・発行責任者・編集人 羽賀絃一 ・毎月1回発行
- ・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

第9回定期総会開催



- 日時 2013. 6. 27 (木) 12:30~13:30
- 場所 ホテル竹園芦屋 高円の間 ○司会 中村事務局長
- 出席者確認 (敬称略)

正会員 大脇、河村、中島、中村、羽賀、榎本、宮本、安井 以上8名

- 正会員16名の内、出席者8名、委任状4通 (田和、藤本、山本、吉田) で会則に基づき総会は成立。

○配布資料の確認 第9回定期総会資料

○議長選出 羽賀会長 ・議事録作成人指名 榎本会員



総会風景

撮影：中村さん

・議事録署名人指名 大協会員

第1号議案 役員の改選(説明者:羽賀会長)

原案を提案

第2号議案 平成24年(2012)度事業報告(説明者:楨本会員)

原案を提案

第3号議案 平成24年(2012)度決算報告(説明者:河村会計担当)

原案を提案

第4号議案 平成25年(2013)度事業計画(説明者:中村事務局長)

子育て啓発事業について下記、一部修正して提案

1. 打出集会所は、9月より月2回とする。曜日は河村さん検討。

10:00~11:30

名称はバンビグループとする。

対象は、0歳児~3歳児

2. 前田集会所は、7月2日より毎週第1火曜日10:00~11:30

名称はカルガモクラブとする。

対象は、0歳児~3歳児

第1土曜日10:00~12:00

まちの寺子屋 対象は、幼稚園児、小学校低学年

第5号議案 平成25年(2013)度予算(説明者:河村会計担当)

原案を提案

以上、各議案ごとに慎重に審議した結果、一部の修正を加えて、異議無しとして承認されました。

羽賀会長より、議案が承認されたことに対し、お礼の言葉があり、閉会した。



第8回定期総会に続き、6月度例会・昼食懇親会開催

13:40～14:40

- 出席者確認 安井会員を除き総会出席者と同じ
- 報告事項 1. 賛助会員三木会員、本人の申し出により退会。
2. 前田集会所のまちの寺子屋は、県からの補助金が無くなったが、前田集会所から年間1万円の補助金を受けることになった。
- 懇談事項
9月14日第17回公開学習会「トモダチ作戦」のチラシ案を配布
会場案内や定員など一部修正して作成する。(羽賀担当)
・過去、当会の学習会参加者へチラシをFAXまたは郵送する。(槇本さん担当)
・7月2日芦屋市男女共同参画団体協議会定例会でチラシを配布しPRする。
(羽賀担当)
- 次回幹事会
7月25日(木) 19:00～21:00 中村邸
(8月の幹事会はお休みとなりますのでぜひご出席ください)

○6月の子育て支援活動

*カルガモクラブ・・・河村さん担当

第1・第3木曜日10:00～11:30 打出集会所

0歳児～3歳児までの親子が対象です。

手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。

子育て仲間を作って育児を楽しみます。



6月6日(木)は **1組の親子** (子どもは1人) が参加されました。

ボランティアは、徳田さん

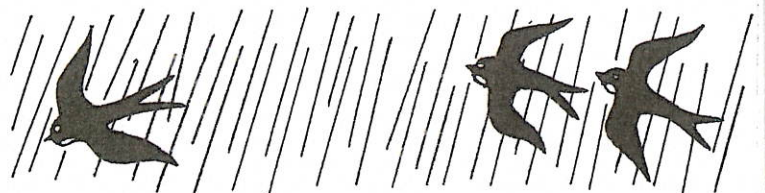
20日(木)は 参加者はありませんでした。

ボランティアは、なし。

○のびやかスペース「あーち」・・・河村さん担当

神戸大学大学院人間発達環境学研究科、ヒューマンコミュニティ創成研究センター・サテライト施設にて実施しています。

今月はお休みしました。



*バンビグループ・・・河村さん担当

第2・第4火曜日10:00～11:30 打出集会所

0歳児～3歳児までの親子が対象です。

自由遊びのなかでの友達づくりやリズム遊び、紙芝居、絵本の読み聞かせなど子どもの成長に合わせた遊びなどを行います。子育て仲間と一緒に楽しく学びます。



6月11日(火)は、**5組の親子** (子どもは7名) が参加されました。

ボランティアは、徳田さん、山内さん

25日(火)は、**3組の親子** (子どもは4人) が参加されました。

ボランティアは、曾我部さん、徳田さん、山内さん



奥では河村さんがお母さんの悩みの相談を受けています。
手前は山内さんが子どもと遊んでいます。



愛情ひとりじめの第2子さん



曾我部さんが子どもと遊んでいます。

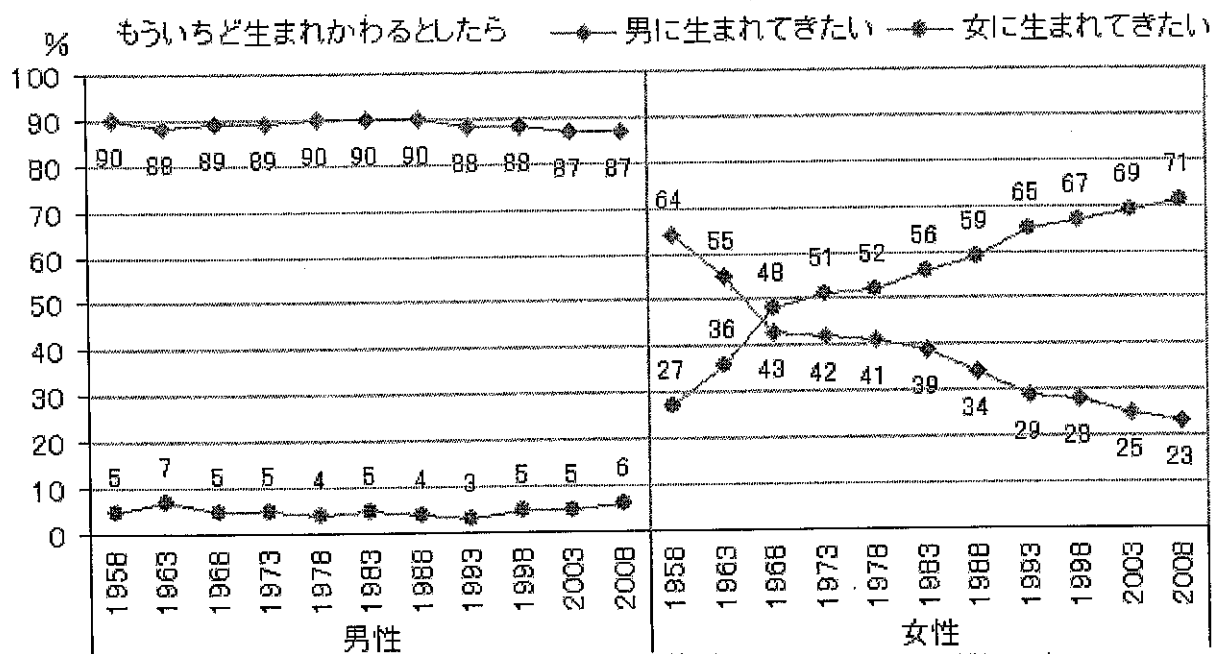
生まれ変わるとしたら、 男がいいか、女がいいか？

日本人の国民性調査の時系列変化を見てみると下記のようになっている。これは統計数理研究所によって1953年来、5年ごとに継続的に行われている。この調査は全国の20歳以上80歳未満の男女個人を調査対象とした標本調査である。

各回とも層化多段無作為抽出法で2,254~6,400名の標本を抽出し、個別面接聴取法で実施されている。

結果は男性と女性の回答が著しく異なっている。すなわち男性は無変化、女性は大変化である。男性は一貫して同じ男性に生まれたいとする者が90%程度を占めているのに対して、女性がかつては男に生まれたいとする者が60%以上の多数派であったのがこの50年の間に女に生まれたいとするものが70%以上の多数派を占めるように変化したのである。女性の意識変化は誠に大きいと言える。

この結果、男女という存在についての見方が男性と女性でまったく異なるようになった。



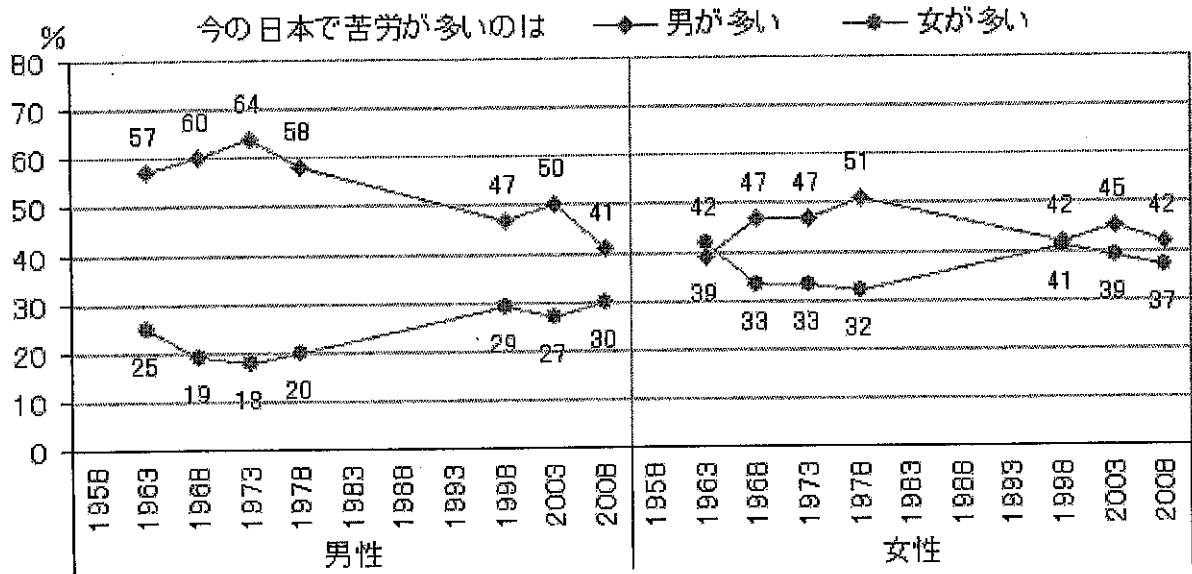
資料：統計数理研究所「国民性調査」

今の日本で苦勞が多いのは、男？女？

男性の回答も女性の回答も、おおむね男の方が女より苦勞が多いとしているが、時系列変化では男性も女性も男女の苦勞の差についてはあまり変化がない。

男性の方の回答で、男の苦勞が多いという回答がやや減り、女の苦勞が多いという回答が増えてきている傾向がある。

(7)

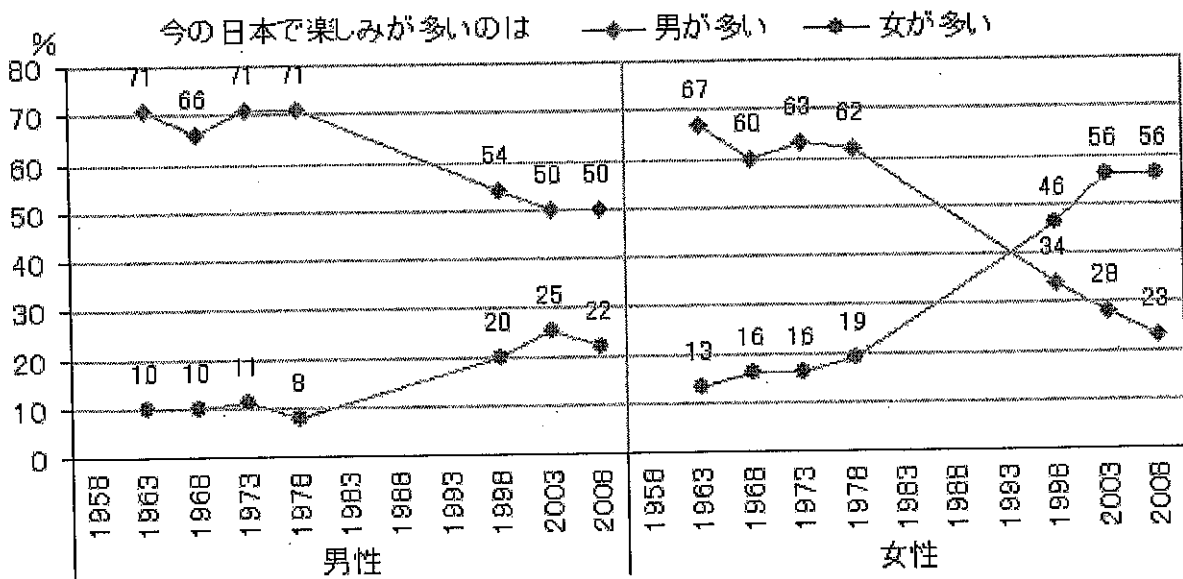


資料：統計数理研究所「国民性調査」

今の日本で楽しみが多いのは、男？女？

男性は、男の方が楽しみが多いとしているが、その割合は時系列的に見ると下がってきている。むしろ女の楽しみの方が多いのではと思う男性が増えている。

女性の場合は大変化であり、昔は男の方が楽しみが多く、女は楽しみが少ないと思っていたのに、最近では、女の方が楽しみが多く、男は楽しみが少ないと感じている。



資料：統計数理研究所「国民調査」

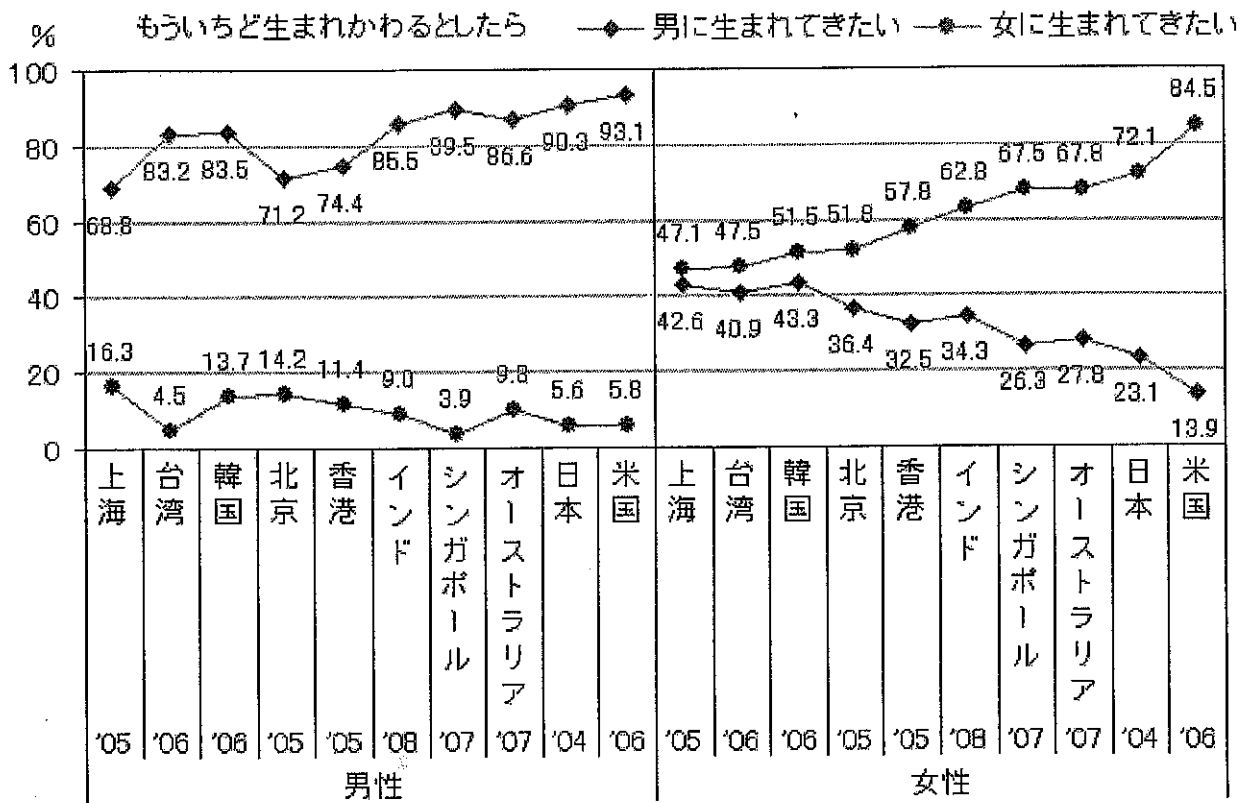
環太平洋価値観国際比較

環太平洋の10カ国(上海、台湾、韓国、北京、香港、インド、シンガポール、オーストラリア、日本、米国)の比較である。

女性の意識を比較してみると、いずれの国でも戦後直後の日本のように「男に生まれ変わりたい」とする女性は多数派ではない。しかし従来は儒教道徳の影響が強かった中国人や韓国人はなお女性の意識では「男に生まれ変わりたい」も多い。また中国人の中では香港は意識変化の進捗度が高いと言える。

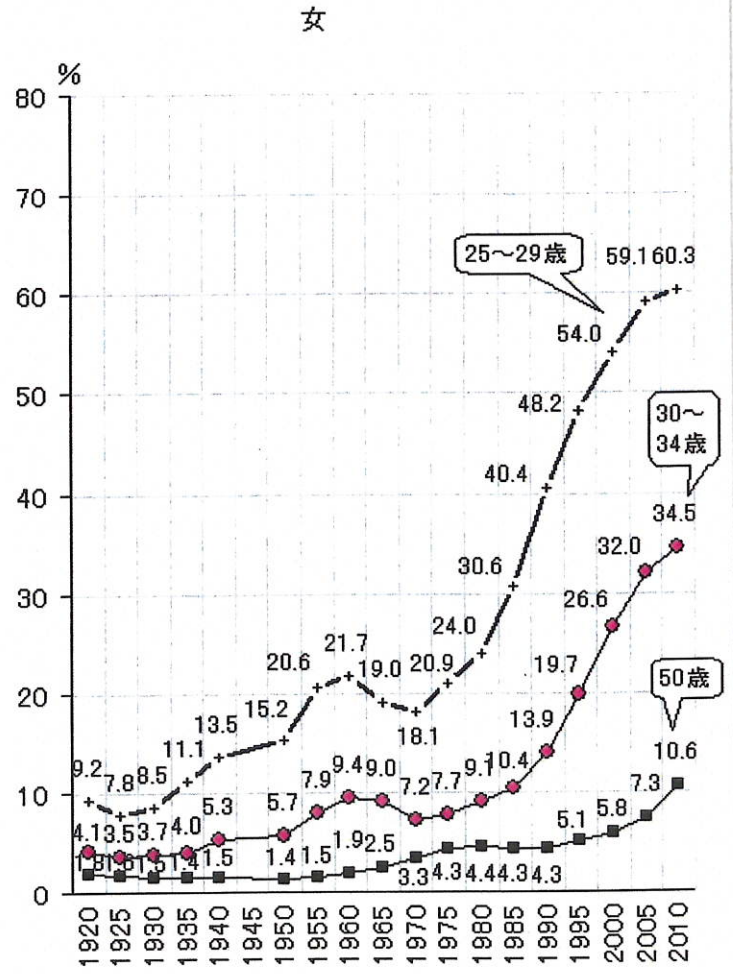
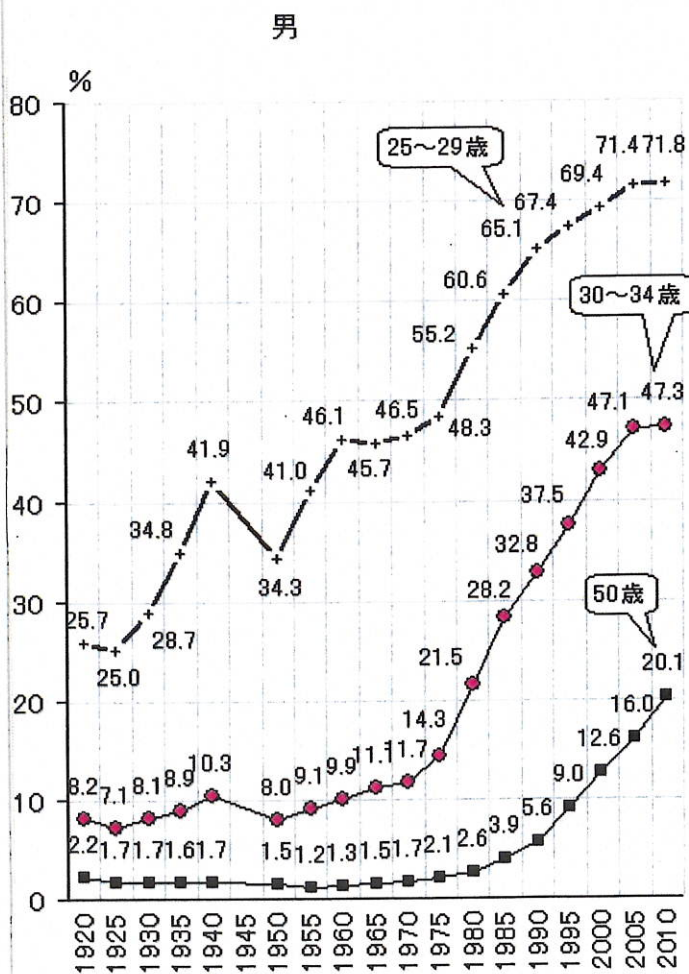
米国は女性の「女に生まれ変わりたい」が84.5%と非常に多い。日本はこれに次いで高い比率になっており、オーストラリアを上回っている。

日本では戦後一貫して男性は「女に生まれ変わりたい」が5%前後とかなりの少数派となっている。ところが、どこでも男性がこうした意識であるわけではない。上海、韓国、北京では男性の15%前後は「女に生まれ変わりたい」と考えている。



資料：統計数理研究所「環太平洋価値観国際比較性調査」

年齢別未婚率の推移



資料：国勢調査

年齢別の未婚率の推移を、男女別に、20歳代後半、30歳代前半、そして50歳時(いわゆる生涯未婚率)について1920年(大正9年)の第1回国勢調査からのデータである。男性20歳代後半の未婚率は、長期的に、上昇傾向を辿ってきたが、その他の男子年齢、あるいは、女子の未婚率は1970年代前半までは、比較的落ち着いた動きをしめしていた。ところが、1970年代後半からは、男女各年齢層で未婚率が急上昇し始めた。

2005年には、男子30歳代前半でも未婚率が5割に近づき、女子20歳代後半の未婚率も6割となった。

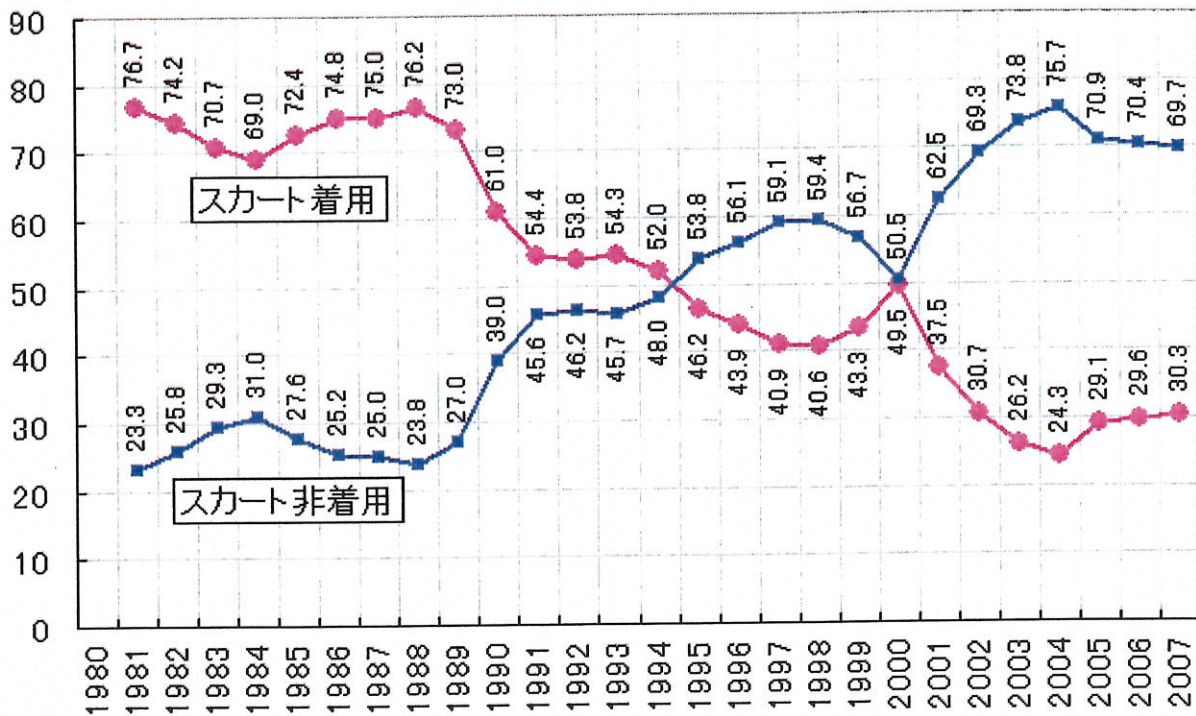
2010年の新しい動きとしては、20代後半や30代前半の未婚率の上昇幅が、男女ともに、大きく縮小している。これまでの傾向が止まったかと思われる。

一方、生涯未婚率(50歳時の未婚率)は上昇を続けており、2010年には、男性で20.1%、女性でも10.6%に達している。つまり、男性の20%、女性の10%が結婚しない社会となってきた。

少子化の要因として近年は未婚率の上昇が注目されている。2005年までは、厳しい状況が続いていたが、2010年になって新しい動きが示されたと言える。

スカート着用率の推移

渋谷公園通りの女性のスカート着用率の変化(%)



資料：三浦展「平成女子図鑑」中央文庫

渋谷公園通りの女性のスカート着用率をみると、1981年の76.7%が2007には30.3%とかなりの勢いで傾向的に低下してきていることが分かる。スカート派は多数派から少数派へと変化した。1995年にはスカート着用と非着用とが逆転している。スカート派の減少は一本調子ではないことも分かる。

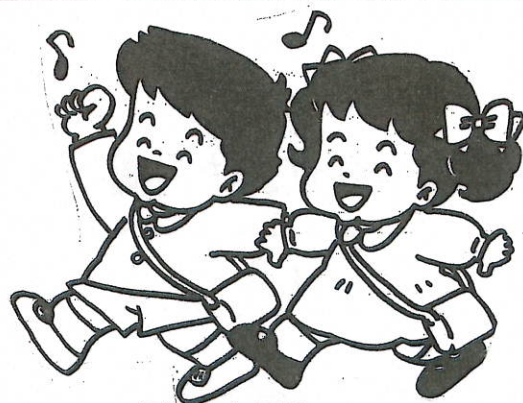
1980年代後半のバブル景気、ワンレンボディコンが流行り、美容師の数が急増していた時期には、一度スカート派が増えていたが、その後バブル経済の崩壊とともに急速にスカート派が減った。

カリスマ美容師が話題になった1999年、網タイツが流行った。

2000年には再度スカート派が一時的に急増したが、同じ頃ユニクロ化現象も発生し、2001年以降は再度スカート派が激減した。

2004年にスカート着用率24.3%の底を打った後、その後は、ややスカート派が回復している。

まちの寺子屋



・・・河村さん担当

6月1日(土) 10:00~12:00前田集会所にて

=落下傘(パラシュート)を作りました=

まちの寺子屋は、幼稚園児、小学校低学年を対象に毎月第土曜日10:00~12:00に前田集会所(前田町8-17)で開設します。

今回の参加者は、**5名**(全員女の子)。今日は、落下傘(パラシュート)を作って遊びました。落下傘は、傘のような形状で空気の力を受けて速度を制御するものですが、フランス語の「守る(para)」「落ちる(chute)」を組み合わせたもので、パラシュートとも呼ばれます。

ボランティアは曾我部さん



完成した落下傘

河村さん

=知っておきたい知識=

大学に入ったらやってみたいアルバイト

=食べ物屋さんが上位を占める=

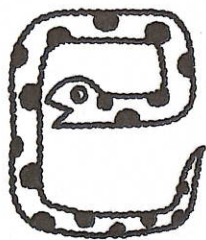
日経モニターの子ども達、小学校5年～中学校3年の男女200人を対象に、首題の調査を行った結果、下記のようになりました。

1位の「ケーキ屋の店員」は女子に大人気、「お菓子づくりが好き」(中学女子)、「パティシエになるのが夢だから」(小学女子)、などの意見が出た。

2位「ハンバーガーショップの店員」では、「できたてが食べられそう」(中学男子)、「みんなの喜ぶ顔がみられそう」(小学男子)、

3位の「テーマパークの従業員」に憧れる人は多い。また、5位の家庭教師は「時給が高いから」(中学男子)という堅実な理由をあげている。

1位	ケーキ屋の店員	47票
2位	ハンバーガーショップの店員	41票
3位	パン屋の店員	35票
3位	テーマパークの従業員	35票
5位	家庭教師	29票
6位	ドラマや映画のエキストラ	26票
7位	コンビニエンスストアの店員	25票
8位	レストランの店員	23票
9位	予備校・塾の講師	21票
10位	コンサート・イベント会場のスタッフ	18票



編集後記

高齢者向けの健康講座で、講師が皆さんには、「教育」と「教養」が不可欠です、と言う。何を今更・・・と思ったら、「きょういく」は、「今日行くところがあること」、「きょうよう」は、「今日、用があること」だった。

なるほど、これがないとボケてしまって元気がなくなるだろうなあと思う。人間というものは、行くところがあり、何か用事をする目的があれば、元気が出てくる。そういう生き物だと思う。

さて、みなさんは、「きょういく」と「きょうよう」は大丈夫でしょうか？これを意識して元気な毎日を送りましょう。

(羽賀)